

C2:DNS DAY

Wrap-Up

～運用管理のあり方

2007年11月22日

IP Meeting / Internet Forum 2007

宇井 隆晴

Internet Week 2007

1

今年のDNS DAY

■ 定番のUpdate

- Root DNS、JP DNS、AS112、NIR Update
- DNSOPS.JP(今年から)

■ テーマ「運用管理のあり方」

- インターネットにおけるDNSの役割が重要になる中で、Anycastなどの高度な技術、DDoSへの対処などが求められている。これからの運用管理のあり方とは？

Internet Week 2007

2

Update (1)

■ Root DNS

- 加藤朗 氏 (WIDEプロジェクト/東京大学)
- Anycastによる強化を継続
 - 13系統中7系統で導入、計132拠点。国内には6拠点

■ JP DNS

- 松浦 孝康 氏 (JPRS)
- 集中監視センタ運用開始
- ドメイン名数の伸び以上にDNSクエリが増加
 - DNSを利用するアプリケーションの増加？

Internet Week 2007

3

Update (2)

■ AS112

- 関谷勇司 氏 (WIDEプロジェクト/東京大学)
- RFC1918あたりのDNSクエリの墓場(blackhole)
- 世界で50サイト、国内に2サイト:WIDE, OCN

■ NIR

- 川端宏生 氏 (JPNIC)
- JPNIC管理下の逆引きLame Delegationの委任停止(2008年2月ごろから開始予定)

Internet Week 2007

4

Update (3)

- 日本DNSオペレーターズグループ
 - 石田慶樹 氏 (DNSOPS.JP)
 - 参加者数は順調に増加。年2回のBoFを開催。
 - 主な話題
 - オープンリゾルバ、DNSSEC、Lame Delegation、
 - スペシャルゲスト: Geoff Huston、Ed Lewis

招待講演: Managed DNS Service

- Edward Lewis 氏 (NeuStar)
- 北米市場での「DNS運用サービス」への要求の高まり
- DNS運用サービスとは何か
- なぜDNS運用サービスなのか
- DNS運用サービスが対象とする顧客は誰か

なぜDNS運用サービスなのか

- DNSを動かすことは簡単だけど、上手に運用するのは難しい
 - Anycastにおける監視などの運用技術への対応
 - DDoS対処などのトラブルシューティング
 - etc...
- Managed DNS Service
 - ネットワーク技術者の1業務ではできない高度なDNS運用をサービスとして提供
 - DNS運用サービスは技術者の職を奪うものではなく、本来の業務に専念できるようにするもの。

Internet Week 2007

7

パネルディスカッション

- モデレータ
 - 米谷 嘉朗 (JPRS)
- パネリスト
 - 小島 育夫 氏 (GMOインターネット)
 - 大久保 修一 氏 (さくらインターネット)
 - 仲西 亮子 氏 (MKIネットワーク・ソリューションズ)
 - 伊勢 幸一 氏 (ライブドア)

Internet Week 2007

8

パネルからの意見

- DNSがサービスとして理解されにくい
 - DNSは動いていて当たり前。でも何かあった時には大問題になる。
 - お客様が必要とするサービスにはきちんとしたDNS運用が必要であることを理解してほしい。
- 企業はDNSの運用がしたいわけじゃない。何かをするためにDNSが必要なだけ。
 - 必要な情報を渡したらDNS動かしてくれるといい。
- DNSアウトソースを仕組みにするためのインタフェース定義が必要ではないか。

会場からの意見

- DNS運用を車の運転にたとえれば、新しい標識や仕組みを知らないたくさんの人が危険な運転をしているようなもの。
 - 新しい情報などが必要な人にきちんと届く仕組みが必要。
- 今のゆるい管理で動いている状態だと、DNSSECみたいな厳格な管理を要求する仕組みが入ってきたときにDNS管理階層は崩壊する。
- DNS運用者はがんばっても評価されない。片手間じゃがんばれない。
 - DNS運用版ミシュラン作る？

まとめ

- Open ResolverやLame Delegationなどの削減・撲滅は、周知啓発活動だけでは限界がある。
 - DNS運用者の知識・経験・モチベーション向上が必要
 - でも、それだけではだめ。
- DNS運用はコストがかかる、コストをかけるべき、という意識を広げることが必要。
 - それでもDNS単品でのサービスは受け入れられにくいかもしれない。他のサービスに組み込んだ形での提供であればよいか。